

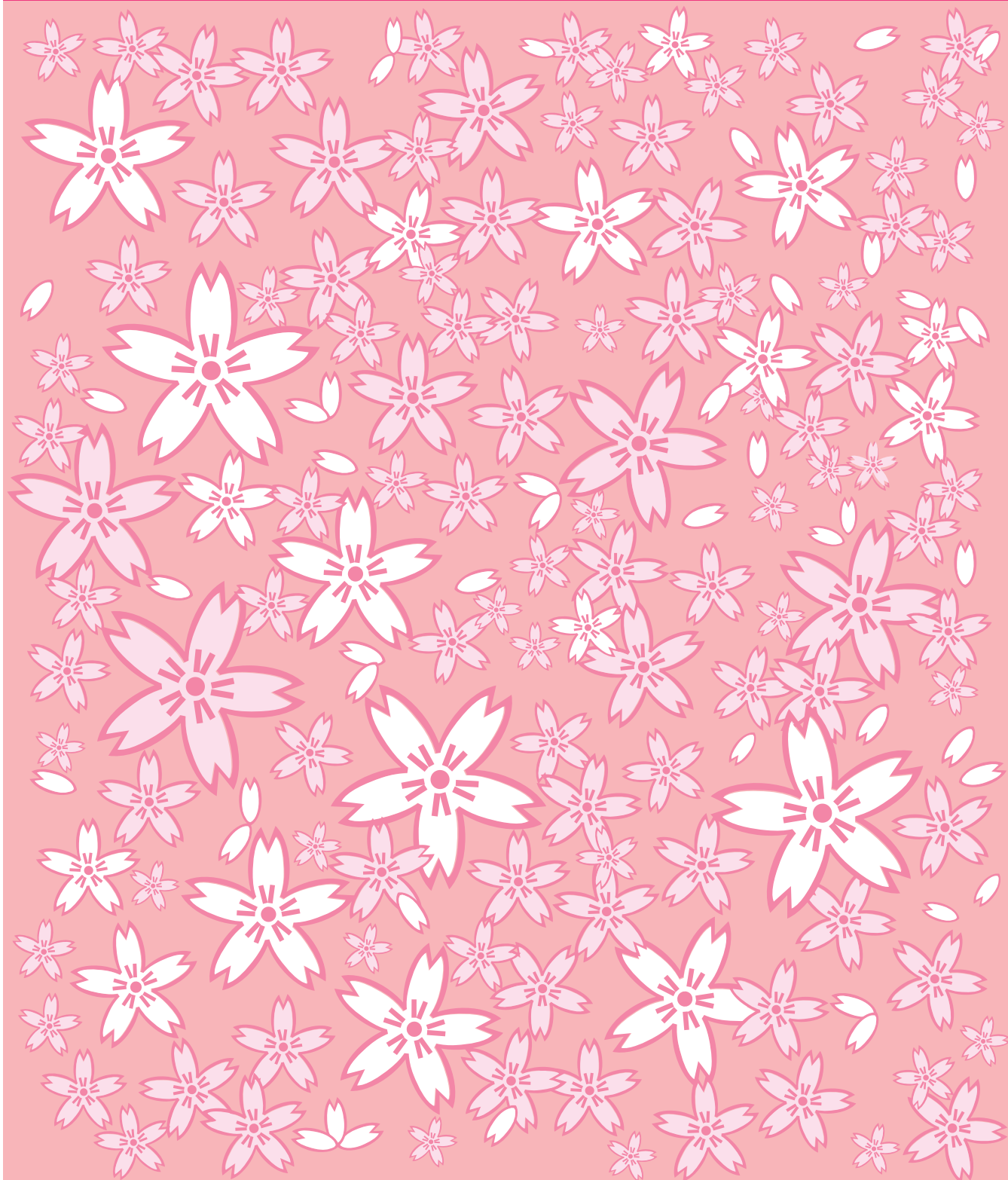
会報

春

No.141

2008.4

社団法人 北海道電業協会



会 報

2008.4
NO.141

目 次

「2008年からの計」原子力安全・保安院 北海道産業保安監督部 企画調整官 尾 谷 真 視... 1	
平成20年電気関係賀詞交歓会..... 2～3	
技術講習会「公共建築工事標準仕様書」..... 4	
技術講習会「高圧受変電設備の計画・設計・施行」..... 5	
電気設備工事現場見学会..... 6	
電設業関連四団体懇談会..... 7	
札幌市都市局との意見交換会..... 8	
電気・空衛連絡協議会..... 9	
「電気・空衛連絡協議会」と「道設備設計事務所協会」との意見交換会...10	
現場からこんにちは.....11	
ーシリーズー 1／212日より	
・「二つの国立公園に抱かれたまち」 釧路市釧路市長 伊 東 良 孝...12～13	
・まなざし清し なごみの里 蘭越 ～融和と自立と協働のまちづくり～蘭越町長 宮谷内 留 雄...14～15	
技術系学校のご紹介 北海道留萌千望高等学校.....16～17	
「お知らせ」 受験準備講習会.....18	
平成20年度電気工事基幹技能者特例講習会について.....19	
業界だより、理事会・三役会・委員会報告.....20～22	
事務局日誌.....23	
編集後記.....24	



「2008年からの計」

原子力安全・保安院 北海道産業保安監督部

企画調整官 尾 谷 真 視

京都議定書の実行年度のスタートや、北海道洞爺湖サミットの開催などを控え、地球環境をテーマとした報道や議論が活発になされています。

日本はオイルショック以降、国・産業界が頑張って高度な省エネ技術を確立してきたが温室効果ガスの排出量全体では増え続けており、特に、製造業に比べてオフィスや一般家庭での増加が大きいという。我が家を見ても灯油の暖房・給湯ボイラー、風呂釜からはじまり、様々な家電、車などなど、ちょっと昔には想像も出来なかったほどエネルギー消費機器が増えています。

現在の我が家は昭和58年に新築したのですが、当時は第二次オイルショック直後で灯油が80円を超えており、薄給の身で大変辛い思いをした記憶があります。そのためか、ここ数年の灯油価格上昇に対しては比較的鈍感でしたが、さすがに百円に近づくようになっては穏やかではいられない。新年早々、まずは我が家の昨年の環境家計簿を作成して、CO₂排出量を計算してみました。これが何と一般家庭における全国平均の2倍超という数値が出てしまいました。排出量の大きな順に灯油、自動車燃料、電気、全体の96%を占めていました。まずは暖房温度設定を従来より低く、白熱電球を蛍光灯へ、待機電力も解消し、その他諸々でチャレンジ開始（車の燃料は既にエコドライブ実施により従来より23%ほどの燃費改善を実現しているので、これ以上の削減は運転自体を減らすか、今後のクリーンディーゼルやハイブリット車等に期待するしかない）。現在わずか2

か月間の結果ですが、昨年に比べ、電気と灯油に関しては15%程度削減できており、意識して実行すれば成果が出るものだと実感しております。

今後は、国、自治体など行政主導による様々な取り組みが強化されるものと思われますが、我々個人が生きていくこと自体が「地球温暖化」の原因となっている以上、最終的には一人一人の取り組みを広げることが大きな効果を獲得するための必要条件となると思われます。北極の氷が減少し、エサであるアザラシの捕獲が難しくなったシロクマが街のゴミ箱をあさったり、犬のエサを狙う。そのような映像を見ると、既に「議論」ではなく「実行」する次期に来ている。と痛切に感じます。

「遅ればせながら」かもしれませんが、とりあえず身の回りの出来るところから始めることにいたしました。読者の皆様で、「これから」「いずれは」と考えておられる方がおりましたら、環境問題対応の大きな節目となる2008年、今年を一つのきっかけとして、ぜひ始められるよう、お誘いいたします。

産業界における企業倫理の問題や社会生活における人と人との関わり合いの希薄さが問われている今日、一人一人が自らのことばかりではなく人類共通の課題に取り組み、広がっていった時、忘れたちとなっている地域あるいは社会全体の安全、安心、連帯の大切さを思い出すことに繋がっていくかもしれません。

平成20年電気関係賀詞交歓会



泉会長

日 時 平成20年1月11日(金)11時から
場 所 札幌グランドホテル 2階
「グランドホール」

(社) 北海道電気協会
北海道電気工事業工業組合
(社) 北海道電業協会

恒例の上記3団体による「平成20年電気関係賀詞交換会」が、1月11日札幌グランドホテルにおいて、多数のご来賓と3団体の会員合わせて約340名が出席して開催された。

初めに主催3団体を代表して泉電気協会会長から、道内景気について触れられ、全国的には緩やかな景気回復となった昨年だが、サブプライムローンに端を発した国際金融情勢の不安定化や、投機化した原油市場の影響などにより世界的な景気の停滞気配が強まり日本経済への影響が強く懸念される。北海道についても、一部で好調な企業や産業が見られるが長年にわたる停滞感はぬぐいきれない現状を述べられた。7月には洞爺湖サミッ

トが開催されることから北海道の食料品関連産業や観光産業で活性化への道が広がってきた。一次産業や自動車産業の集積、北海道新幹線の導入などは北海道が抱える課題解決に向って確実に前進するものと思われ、本年が明るい未来につながる一年になることを期待している。さらに、洞爺湖サミットという一大国際イベントを控え、地域のライフラインの確保を担っている私ども3団体は、電力安定供給の使命の重さを痛感している。これまでも、停電事故に際して、早期復旧のために、関係者の皆様方に大変なご苦勞とご協力を頂いたことに感謝するとともに、今後も3団体一致協力して、道内全ての地域に安定した電力を供給



樋口総務部長

できるように努力しようと挨拶された。

続いて、来賓の深野弘行北海道経済産業局長（代読 樋口恭司総務企画部長）から祝辞を頂戴し、まず、日頃から電力という国民生活や産業に不可欠なエネルギー供給に尽力されていることに対するお礼を述べられてから、最近の経済情勢について触れ全国的には製造業を中心に回復の方向にあるが北海道をはじめとする地方経済は、回復が実感できるには至っていない。地域の活性化が課題になっていることを強調された。このためには、地域経済の発展なくして国の発展はなく、地域支援と新たな事業を興すため、農林水産業と商工業との連携や中小企業に対する経営基盤強化などに積極的に取り組む考えを示された。また、環境問題が主要なテーマとなる「洞爺湖サミット」については、リデュース・リユース・リサイクルといった、資源を有効活用した*「3Rの推進」による循環型社会の推進や、省エネルギー、新エネルギー分野での実践的取り組みを推進し、関係機関と連携してサミット開催地に相応しい、先進的な環境調和型社会の構築を目指したい思いを伝えた。

最後に、電気関係3団体の一層のご理解とご協力をお願いされて締めくくった。

*「3Rの推進」

リデュース（Reduce） 廃棄物の発生抑制

リユース（Reuse） 製品・部品の再利用

リサイクル（Recycle） 再生資源の利用

この後、北海道電気工事業工業組合の尾池理事長の乾杯で交歓会が始まり、会場では景気回復や企業業績アップを願い、あちこちで名刺交換や歓談する姿がみられ、和やかな雰囲気での時間の経つのも忘れるほどの賑わいであった。

12時すぎに中締めとなり当電業協会の小出副会長の乾杯でお開きとなった。



尾池理事長



小出副会長

技術講習会「公共建築工事標準仕様書(電気工事編)(平成19年版)」



平成20年1月30日(水)午後1時30分から、北海道電気会館502会議室において、当協会および電設協道支部共催による「公共建築工事標準仕様書(電気工事編)(平成19年版)」の講習会を開催し、会員企業の関係者26名が参加した。

公共工事を受注・施工する際の契約図書である仕様書は今回、これまでの16年版以降の情報化社会の進展や省エネルギーの促進、防災機能の確保・強化などに対応するため拡充された内容となっている。

開催にあたり主催者を代表して、当協会広島専務理事から、最近の北海道経済の状況に触れ「景気回復は見られない厳しい状況である。企業として生き残るためには技術力の向上が強く求められている。技術力向上の一環として本日の講習会を有意義なものにしていただきたい」と挨拶した。

講師には、(社)日本電設工業協会技術・安全委員会の委員で、北海電気工事(株)電設工事部長の佐々木成氏が日本電設工業協会本部から派遣された。

佐々木氏は、改定点として、①「国としての施策対応」地球環境への配慮や施設完成後に活動するすべての人への配慮②「国際化への対応」IEC(国際電気標準会議)対応の最新JIS規格への追従③「技術革新への対応」低圧絶縁監視装置、無線LAN、IPカメラの記載充実やWeb監視装置の追加などについてポイントを説明。講義はテキストに基づきパソコンのパワーポイントを駆使し、参加者にわかり易く解説された。受講者はテキスト「公共建築工事標準仕様書」、「公共建築設備工事標準図」の2冊を交互に見ながら改定点の重要なポイントに熱心に耳を傾けていた。



開講挨拶 広島専務理事



講師 佐々木茂氏

技術講習会「高圧受変電設備の計画・設計・施工」



平成20年2月14日(木)午後1時10分から同5時まで、北海道電気会館502会議室において「高圧受変電設備の計画・設計・施工」に関する講習会を開催した。受講者は会員企業の工事の実務担当者で13社22名の方々が参加した。

開催にあたり主催者を代表して、当協会の工藤技術安全委員長から、7月に開催される「北海道洞爺湖サミット」のテーマである環境問題に触れ、受変電設備を高効率にすることで省エネ、省資源に結びつき、CO₂削減に貢献するので、今回の講習会テーマが環境問題に大いに関連していることの理解を求めた。さらに、電力会社へ波及事故を拡大しないこと。そのためには、いろいろな保護継電器の選定・設定値を確実にすることが大

切であると強調された「専門業者として責任ある立場にあることを認識して本日の講習会を有意義なものにしていただきたい」と挨拶した。

講師には、北海電気工事(株)営業部設計・積算G課長代理大村剛宏氏が日本電設工業協会本部から派遣された。

講習内容は、高圧受変電設備の構築に従事する電気技術者が、計画から設計、施工に至るまでの一連の業務を円滑に進めるために必要な内容をテキストに基づき解説。特に、設計編では、使用する機器の種類と概要、機器の耐震設計についても事例による計算例や事例に基き詳しく指導された。



開講挨拶 工藤技術安全委員長



講師 大村 剛宏氏

電気設備工事現場見学会



平成20年2月28日(木)会員企業の技術向上と最新設備の見聞を深めるため、会員会社13社18名で室蘭市の日本環境安全事業株式会社（JESCO）北海道PCB廃棄物処理施設の見学会を実施した。

JESCOでは、国が定めたPCB廃棄物処理基本計画に基づき、平成15年4月から、施設整備を推進するために、室蘭市内に北海道事業所を設置。平成18年2月から「北海道PCB廃棄物処理施設」の建設に着手した。処理対象地域は北海道及び東北・北関東・甲信越・北陸の1道15県。これらの地域に保管されている処理対象のPCB廃棄物「高圧トランス・コンデンサ等」の解体・分別・洗浄処理とPCBが含まれた液の分解処理を行う。操業開始は平成20年4月予定。処理能力は1.8トン／日。

はじめに、PCB処理情報センターの会議室において、JESCOの田野調査役から施設の概要説明を受けた後、隣接する情報公開ルームでは、処理施設の模型や施設内19箇所を設置されたカメラからの作業状況がリアルタイムで映し出される「ライ

ブ映像コーナー」さらに、作業で実際に使用されているグローブを使い、積み木の組み立てを行う「グローブボックス体験コーナー」などの説明があった。

続いて、PCB廃棄物処理施設を見学。ここでは、2階の見学ルートから、受入室・検査室から作業工程の流れに従い、荷捌き室、トランス・コンデンサ解体エリア、攪拌洗浄エリア、真空加熱分離エリア、液処理エリアでの機器類並びに作業状況がガラス越しに見学できる。田野調査役から、作業エリアの特徴について説明があった。特にそれぞれのエリアごとに多重の安全・管理対策が図られ「排気対策設備」「漏洩防止対策設備」「緊急時対策設備」があり、これらの安全対策設備を常時モニタリング・監視するなど、万全の安全管理体制について説明があった。

最後に、中央制御管理室の監視・作業状況を見て見学会を終了した。



JESCO田野 洋 調査役



電設業関連四団体懇談会



平成20年2月25日(月)午後4時から北電北二条クラブにおいて、当協会、電気資材卸業協同組合、電設資材総合メーカー（3社）、配電盤制御システムズ工業会道支部の4団体による懇談会を開催した。

はじめに、当協会の遠藤会長から日頃の皆様のご協力に対して感謝の意を述べられたあと「厳しい経営環境が継続している中で、電設業関連四団体が一致協力して、この難局を乗り越えていくためにも有意義な懇談会にして欲しい」と挨拶があった。

続いて配電盤工業会の嘉部支部長から、業界の現状について「原油価格の高騰や材料の値上がりなどで、経営を圧迫して厳しい環境であるが、今後とも4団体は運命共同体として協力していきたい」と挨拶された。

次に、資材組合の三神理事長から「北海道の建設業は厳しい状況が継続している。オール電化住宅の普及拡大やセキュリティのニーズ拡大など明るい材料もあるので、皆さんで力を出し合ってこの難局を乗り越えよう」と挨拶された。

引き続き各団体、メーカー各社から業界の現状と今後の見通し・対策などの報告があった。

最後に当協会の活動報告を広島専務理事から電気設備工事業に係る受注状況および昨年10月に日本電設工業会（本部）が策定した「会員大会決議」について、適正な事業活動の推進と取り組み状況を説明した。

出席者は次のとおり

○(社)北海道電業協会

遠藤会長、小出副会長、山口副会長、小野寺経営委員長、元永経営副委員長、広島専務理事、枝並事務局長

○北海道電気資材卸業協同組合

三神理事長、滝川副理事長、土屋理事、高橋専務理事

○(社)日本配電盤制御システムズ工業会北海道支部

嘉部支部長、石田副支部長 中山副支部長

○電設資材総合メーカー

松下電工(株)小山営業部長、東芝ライテック(株)秋山営業部長、三菱電機住環境システムズ(株)間山課長

札幌市都市局との意見交換会



当協会と(社)北海道空調衛生工事業協会との共催で平成20年3月14日(金)ホテルニューオータニ札幌において、札幌市都市局幹部方々のご出席をいただき、意見交換会を開催した。

当協会と道空衛協会からそれぞれ会長、副会長、理事ら合わせて24名が参加した。札幌市都市局からは鈴木保雄設備担当部長、芝富士夫電気設備課長、小谷勉機械設備課長、が出席された。

＜意見交換会の内容は次のとおり＞

1. 札幌市からの情報提供

- ①札幌市の事業動向と今後の見通しについて
- ②工事提出図書見直しの検証について
- ③入札制度について



鈴木部長

2. 質疑応答・要望

最近の業界紙の記事から、その内容について質疑・要望を行った。

- ①分離発注の継続と適正工事量の確保について
- ②リニューアル事業に対する予算措置の配慮のお願いについて
- ③札幌市との防災協定締結に向けたお願いについて
- ④予定価格「事前公表の廃止」について
- ⑤札幌市の予定価格積算時の対応と工期長期化にいたった場合の対応について
- ⑥札幌市の電子入札の移行措置について



遠藤会長

電気・空衛連絡協議会



平成20年3月14日(金)ホテルニューオータニ札幌において当協会と(社)北海道空調衛生工事業協会による平成20年度の協議会を開催した。

当協会からは遠藤会長ほか10名、道空衛協会からは、池田会長ほか12名が出席した。

本協議会は、電気・空衛の両協会が連携・協調して事業を推進するため毎年開催しており、両業界の共通課題に取り組み、情報交換及び検討会を重ね、両協会の地位向上、企業経営に大きな役割を果たしている。

今年は、下記の協議事項について意見交換を行った。

【協議事項】

1. 電気・空衛連絡協議会行事予定について
2. 北海道設備設計事務所協会との協議会開催について

【出席者】

◎(社)北海道空調衛生工事業協会
(㊦)札幌空調衛生工事業協会

会 長
副会長
理 事 総務副委員長
〃 経営委員長
〃 経営副委員長
〃 技術委員長
〃 技術副委員長

池 田 薫
末 永 誠 一
迹 田 保 典
里 中 雅 幸
伊 藤 潔
五十嵐 正 明
村 田 克 敏

〃 労働委員長
〃 広報委員長
理 事 厚生委員長
〃 厚生副委員長
監 事
事務局長

美 馬 正 治
佐 藤 久
石 尾 修
佐 橋 光 好
佐 藤 正 治
小 林 雅 英
(13名)



池田会長



遠藤会長

◎(社)北海道電業協会
会 長
副会長
〃
〃
理 事 総務委員長
〃 経営委員長
〃 広報委員長
〃 厚生委員長
経営副委員長
専務理事
事務局長

遠 藤 健
小 出 信 夫
山 口 勉
野 尻 武 彦
加 藤 勝 利
小野寺 涼 一
橋 本 耕 二
萩 本 哲 夫
元 永 修
広 島 維 夫
枝 並 秀 喜
(11名)

「電気・空衛連絡協議会」と「道設備設計事務所協会」との意見交換会



当協会と道空調衛生工事業協会で構成する「電気・空衛連絡協議会」と「道設備設計事務所協会」との意見交換会が3月24日(月)北海道電気会館502会議室で開催され、3協会から合わせて27名が出席した。

はじめに、遠藤会長から業界を取り巻く環境が厳しさを増す中で、公共工事の減少、原油価格の高騰などで、さらに厳しさに追い討ちをかけられている状況を説明し、この難局をみんなで力を合わせて乗り越えようと挨拶があった。

つづいて、各業界から状況報告があり、電業協会からは、電設工事業界をめぐる最近の状況と当協会の事業取り組みについて、会員調査結果の資料から、会員の受注が官民共に不調で全国に比べ大きな落ち込みになっている現状を報告。さらに、日本電設工業協会が昨年10月に策定した「19年度会員大会決議事項」について説明した。

道空衛協会からは、最近の日空衛の活動状況から、コンプライアンスの確保と、設備生産システムのあり方について説明された。道設備設計事務所協会からは、建築士法改正に伴う建築設備士の活用のあり方と今後の協会運営の取り組みについて説明された。

《出席者名は次のとおり》

◎北海道設備設計事務所協会

会 長 種市 由夫
副会長 高木 正一
理 事 須藤 良也 鳥海 稔明
池田 信穂 高木 晃
藪原 賢
事務局長 増田 宏興

◎(社)道空調衛生工事業協会

会 長 池田 薫
副会長 末永 誠一
理 事 渡部 正博 里中 雅幸
五十嵐正明 石尾 修
監 事 佐藤 正治
事務局長 小林 雅英

◎(社)北海道電業協会

会 長 遠藤 健
副会長 小出 信夫 山口 勉
野尻 武彦
理 事 加藤 勝利 小野寺涼一
橋本 耕二 萩本 哲夫
経営副委員長 元永 修
専務理事 広島 維夫
事務局長 枝並 秀喜

現場からこんにちは



発注者 日本赤十字社
工事名称 旭川赤十字病院増改築電気設備工事
工事場所 旭川市曙1条1丁目ほか
工期 平成19年1月26日～平成22年3月31日
構造規模 病棟SRC免震構造8階建
延べ23,931.24m²
エレルギーセンター棟 RC造2階建
(地下1階) 延べ1,269.66m²
既存病棟 RC造5階建(地下1階塔
屋2階) 延べ23,200.50m²

施工業者

建築工事 清水建設(株)・(株)浅沼組JV
空調衛生工事 三建設備工業(株)・(株)朝日工業社
・池田煖房工業(株)JV
電気工事 東光電気工事(株)・三共電気工業
(株)・(株)北弘電社JV

工事概要 受電電圧 6.6KV(1回線)
受電容量 4,100KVA
発電設備 6.6KV750KVA
ガスタービン
その他電気設備

設計・監理 (株)山下設計

「地域に求められる21世紀に相応しい病院」を目指し、平成19年1月に着工しました。当病院は

大正12年に札幌より日本赤十字社北海道支部病院として移転開院し、今日まで増改築の歴史を繰り返してきましたが、今回工事はその集大成と言えるかもしれません。

建築概要としては、災害時にも病院機能を維持できるように地下階に免震装置が設置されます。外壁はレンガ貼りとし重厚感のある建物へと一変します。

施設概要は、ベッド数600床(内集中治療54床)、10室の手術室、放射線機器(MRI・CT)13台とし、救急救命センターを充実させるべく、屋上にはヘリポートを装備することになります。(余談ですが…テレビでお馴染みの上山先生が脳神経外科部長として診療されています。)

現場の近況としては、10月末の新棟の完成に向け、内装工程が着手されました。

今後、各機器を取付し、新棟引渡しとなります。引き続き、既設改修工事へ移行します。基本的に病院機能は病理検査、外来部門、事務部門を除き新棟側に移行されます。停電を伴う既設電気室の改修があり、病院という施設を考慮し、綿密に打合の上、計画を立てなければなりません。

最後に、災害防止を念頭に置き、無災害で工事を竣工させるよう、日々努力をしていきます。

(取材 広報委員会)



「二つの国立公園に抱かれたまち」釧路市

釧路市長 伊 東 良 孝



釧路市は、平成17年10月11日に旧釧路市・阿寒町・音別町が合併し、新しい「釧路市」となりました。

北海道の東部に位置する釧路市は、国内屈指の水揚量を誇る水産や二つの製紙工場を擁する紙パルプ産業、国内唯一の坑内掘り炭鉱を有する石炭鉱業、酪農業、林業など、多様な産業構造を持つ活力ある東北海道の拠点都市として着実な発展を続けています。

また、釧路湿原、阿寒の二つの国立公園を持ち、豊かな自然や温泉、新鮮な海の幸・山の幸に恵まれ、国内はもとより海外からも観光客が訪れる観光都市でもあります。

気候は、内陸部では年間の寒暖差が大きいものの、一年を通じて冷涼で、海岸部では春から秋にかけて海霧（ガス）が発生しますが、秋から冬にかけては晴天が続きます。降雪量は内陸部ではやや多いものの、北国としては少ないのが特徴です。

釧路ならではの四大グルメ

釧路市の観光の醍醐味は「多彩な食」。北洋漁業の基地として栄えた釧路では、その長い歴史とともにさまざまな食文化が開花しました。旬の味覚をそのままに味わう「寿司」。炭火焼きでじっくりあぶった「炉端」は釧路発祥と言われています。明治45



年開業の竹老園東家総本店の「そば」は、市内だけでなく道内に支店が点在しています。細縮れ麺にあっさり醤油スープの「ラーメン」は北海道第四のご当地ラーメンとして高い評価を受けています。

施設・イベント紹介

こども遊学館や生涯学習センター「まなぼとと幣舞」、音別町体験学習センター「こころみ」、阿寒湖畔エコミュージアムセンター、動物園などの教養文化施設や公園施設のほか、平成20年9月オープン予定の、北海道第2の規模を誇る総合体育館「湿原の風アリーナ釧路」など、各種スポーツ施設が整備され、文化・スポーツ活動が盛んに行われています。



まちのイベントには、港まつりや霧フェスティバル、大漁どんぱく、まりも祭り、イオマンテの火まつり、蒔まつり、阿寒湖氷上フェスティバル、氷まつりなどがあり、五感を使って釧路の四季を満喫できます。

●釧路湿原国立公園

釧路湿原は、さまざまな動植物が生息する日本最大の湿原です。湿原展望台では、湿原についての展示物を見学したり、屋上から湿原を眺望したりすることができます。また、「タンチョウ」の生息地としても世界的に有名で、冬になると餌を求めてタンチョウが集まる給餌場が釧路湿原の周辺に3カ所あります。丹頂鶴自然公園や釧路市動物園では1年を通してタンチョウを観察することができます。



●阿寒国立公園

雄阿寒岳・雌阿寒岳・周辺の森林という豊かな自然と、阿寒湖畔の温泉が人気のエリアです。特別天然記念物の「マリモ」は、阿寒湖上にあるチュウルイ島のマリモ展示観察センターで観察することができます。また、国設阿寒湖畔スキー場では、これらの雄大な景色を眺めながら滑走することができます。



●宿泊型体験学習施設「こころみ」

旧学校舎を再利用した宿泊型体験学習施設で、そば打ち・ソーセージ作りなどの食品加工体験や、ふき紙漉きのほか、20cmクーデ式望遠鏡での天体観測ができます。また、冬季間は近隣にタンチョウが飛来し、観察を兼ねたスノーハイクやスノーシュー

での散策も可能です。



●釧路大漁どんぱく

釧路の四季の中で比較的天候が穏やかな9月上旬に開催される「釧路大漁どんぱく」には、釧路の4大グルメはもちろん、地ビール・地酒など、釧路のうまいものが集結します。また、花火大会では、直径600mの巨大な三尺玉やスターメインなど、約8,000発の花火がわずか1時間の間に打ち上がります。



●阿寒湖氷上フェスティバル

ワカサギ釣りや氷上ミニゲーム、阿寒湖の氷切り体験など、冬の遊び満載のイベントが1月下旬から3月まで連日開催されます。夜には花火大会もあり、真っ白な世界に浮かび上がる炎の花はとても美しく印象的です。



ホームページアドレス

<http://www.city.kushiro.hokkaido.jp/>



まなざし清し なごみの里 蘭越 ～融和と自立と協働のまちづくり～

蘭越町長 宮谷内 留 雄



蘭越町は、後志支庁管内の南西部に位置し、面積449.68平方キロメートルで後志支庁管内一の広大な面積を有し、平成20年2月1日現在の人口は、5,673人。

◀まちの中心を東西約30kmにわたり貫流して日本海に注ぐ、清流日本一の7度輝いた母なる川「尻別川」と、蝦夷富士と称される秀峰「羊蹄山」

風雪に耐えて拓かれた大地の蘭越町は、雄大なニセコ連峰に抱かれ、清流日本一の母なる川「尻別川」のほとりに広がる豊穡の沃野と、7つの温泉郷に恵まれた美しい風景を誇る「蘭越米」・「温泉」・「観光」のまち。そして人々の心やさしく、ロマンあふれる「花いっぱい」のまちです。

人と自然が、心をひとつに歩み続ける蘭越町。四季折々に演ずる自然の表現は、訪れる人々に話しかけ、心引き付ける不思議な魅力があります。

蘭越町は、「まなざし清し なごみの里 蘭越 ～融和と自立と協働のまちづくり～」をテーマに、21世紀の幸せづくりを目指して、その基盤づくりを着々と進めています。

ホームページアドレス <http://www.town.rankoshi.hokkaido.jp/>

～ 町営温泉 ～



昆布川温泉郷～美人温泉の交流促進センター「**幽泉閣**」

湯本温泉郷～11の露天風呂を有する国民宿舎「**雪秩父**」



～ まちの特産品 ～

「ほしのゆめ」「ななつぼし」「きらら397」に代表される蘭越米の生産地。

また、メロン、アスパラ、イチゴ、カボチャ、馬鈴薯などの農産物や、山菜・キムチ・三升漬等の地場産品の漬物も町の自慢の特産品です。



まちの活力の源 ～ 「4つの戦略プロジェクト」



「ふるさとの丘構想」

国道5号沿いに、平成3年度に直売場を整備し、地元の新鮮な牛乳を使用したアイスクリームの生産・販売を行っています。その後、森と木の里センター、キャンプ場、パークゴルフ場等を順次整備した「リンリン公園」は、多くの家族連れやグループの方が訪れています。また、直売センターは、平成15年度に「道の駅」に指定されました。

「シーサイドパークみなと構想」

海との新たな関係を模索するシーサイドパークみなと構想は、平成3年度国道229号沿いに「貝の館」、平成4年度には地場産品を販売する「シェルプラザ」がオープン。その後、平成6年度には「第2貝の館」も完成し、新しい工夫とアイデアで地域活性化の起爆剤となっています。また、シェルプラザは、平成17年度に町内で2箇所目となる「道の駅」に指定されました。



「ふれあいカントリー構想」

「都市と農村との交流」をテーマに、平成3年度に富岡地区、平成5年度に日出地区に「滞在交流宿泊施設」を建設しました。管理・運営は、地元住民で組織する会に委託し、体験農園や無農薬野菜などの栽培など、工夫を凝らした運営で利用客に喜ばれています。

「大湯沼開発構想」

湯本温泉郷にある「大湯沼」は、硫黄球を観察することができ、学術的にも貴重な湯沼とされており、これを保護し、かつ観光資源として利用するため、平成5年に環境省の「ふれあい・やすらぎ温泉地」の指定を受け、3箇年で整備を行いました。平成7年度には、国民宿舎雪秩父に大露天風呂が、平成8年度には「大湯沼自然展示館」がオープンしています。



「蘭越米を全道へPR」

新米キャンペーンを札幌駅構内や、テレビ放映など関係者が一体となって行い、蘭越米をPRしています。



「花を通してまちづくり」

地域・家庭・職場で美化緑化の「花いっぱい運動」が積極的に推進されています。

技 術 系 学 校 の ご 紹 介

北海道留萌千望高等学校



校舎全景

1. 留萌市と学校の沿革

留萌市は、旭川市から西へ90km離れた日本海に面した港町である。昭和30年頃にはニシン漁で栄え最盛期には人口5万人を数えたが、現在は漁業不振により3万人を割り込むに至っている。

主たる産業は、水産加工業と国・道の出先機関であり大きな工業系企業は存在しないが、電気工事を含む建設業は少ないながらも健在である。

本校の創立は平成10年度であるが、昭和38年度から工業技術教育を担ってきた留萌工業高等学校を前身校とし、商業系学科を吸収する形で再出発したものであり、卒業生は今も留萌工業高校卒業生と同じ意識で繋がっている。

開校当初は、4学科（電気システム科、建設科、流通経済科、情報ビジネス科）8コースであったが、人口減少に伴い平成19年度に3学科（流

通経済科が閉科）6コースとなっている。

2. 電気システム科の概要

本校の電気システム科は、北海道で最初に電気科からの学科転換が認められた学科であり、全国でも3例目の存在である。その後、富良野、美唄でも認可され、道内に3校存在する。

教育目標は「電気技術や情報技術に関する基礎的・基本的な知識と技術を修得させる」とし、目標達成のため「電力技術コース」と「情報技術コース」の2コースを設定している。

「電力技術コース」では、電力の発生や輸送に関する技術や安全管理、電力を応用する分野に於ける技術や安全管理を学び、電力会社や電気工事会社・工場等の電気設備メンテナンス部門等で活躍するスペシャリストを育てることを目標としている。

科 目	標準 単位	1 年	2 年		3 年		計	
			電力	情報	電力	情報	電力	情報
工業数理基礎	2-4	3					3	3
課題研究	2-4				3	3	3	3
電気実習	6-12		3	3	3	3	6	6
電気製図	2-8				2	2	2	2
工業数理基礎	2-4	2					2	2
情報技術基礎	2-4	2					2	2
電気基礎	4-8	4	3	3			7	7
電気機器	2-4		2	2	#2		#4	2
電力技術	4-6		2		5		7	
電子技術	3-6		2	2			2	2
通信技術	2-6					2		2
電子計測制御	2-6					3		3
電子情報技術	2-4			2				2
プログラミング技術	2-6					#2		#2
専門科目合計		11	12		13-15		36-38	

電気システム科教育課程表（#印は数学Bとの選択）

「情報技術コース」では、電子回路やセンサ技術、コンピュータ制御の仕組みやプログラミング技術、電話や無線などの通信を学び、電話工事会社や自動機械製造会社、各種製造会社の機械オペレータ部門で活躍するスペシャリストを育てることを目的としている。

1年次には共通する科目の基礎的な部分を学習すると同時に、コース選択に必要な興味・感心・進路見通し等について考え、2年次からはコース別に専門分野を学習していく時間を多くしている。



現場実習風景（送電線鉄塔作業）

各種資格の学校認定については、電力技術コースでは「第三種電気主任技術者」、情報技術コースでは「工事担任者DD3種」の学校認定を受けている。

資格取得に意欲を燃やし、全国工業校長協会が認定する「ジュニアマイスター」ゴールドやシルバーを受けた生徒も決して多くはないが輩出している。

地域との連携としては、2学年で実施する現場見学（留萌電力センター見学及び所長講話）や3学年で実施する現場実習（3日間、市内10企業）があり、地域企業が持っている工業技術に関する教育力を活用させて頂き、学校では学べない実際現場での技術を生き生きと学んでいる。また、卒業生との繋がりにも役立たせて頂いている。

地域への情報発信として、小中学生から社会人までを対象とした学校開放講座を毎年度の夏期休業中に開講している。開設講座は、「PICマイコンを使ったライントレーサーカーの製作」で、4bitのセンサと2ギヤモータからなる車体の組立と制御プログラミングを2日間（10時間）で完成させるもので、最後のタイムレースで盛り上がり、満足げに作品を持ち帰る姿に、ものづくりの楽しさを体験してもらえ数少ない施設としても重要な存在であることを実感している。

海や山に囲まれた豊かな自然環境の中で、生徒達は今日も伸び伸びと電気技術を学び、明日のスペシャリストを目指し活動している。



開放講座風景（走行テスト）

お 知 ら せ

1. 平成20年度電気工事施工管理技士

1 級学科 受験準備講習会

【申込受付期間】

平成20年2月20日(水)から4月30日(水)まで
(定員になり次第締め切り)

【申込方法】

- ・ 所定の申込用紙により(社)日本電設工業協会北海道支部宛にFAX
- ・ 申込用紙は、(社)北海道電業協会で行き届く。

【開催日】

平成20年5月14日(水)～
5月15日(木)2日間

【開催場所】

北海道開発協会会議室
札幌市北区北11条西2丁目セントラル札幌北
ビル6F) 電話011-709-5211

【検定試験日】

平成20年6月8日(日)

平成20年度電気工事施工管理技士

1 級実地 受験準備講習会

【申込受付期間】

平成20年7月14日から開催日当日まで(定員になり次第締め切り)

【申込方法】

- ・ 所定の申込用紙により(社)日本電設工業協会北海道支部宛にFAX
- ・ 申込用紙は、(社)北海道電業協会で行き届く。

【開催日】

平成19年9月5日(金)1日間

【開催場所】

北海道開発協会会議室
札幌市北区北11条西2丁目セントラル札幌
北ビル6F) 電話011-709-5211

【検定試験日】

平成20年10月19日(日)

2. 平成20年度電気工事基幹技能者認定講習会

【申込受付期間】

平成20年8月中旬から9月下旬まで

【開催日】

平成20年11月1日(土)～2日(日)
2日間

【開催場所】

北海道電気会館
(札幌市中央区北1条東3丁目)

【受講資格者】

第一種電気工事士の有資格者で、電気工事の直接施工業務について、7年以上の実務経験を有するもので、労働安全衛生法第60条による職長教育を終了して、3年以上の職長経験を有している者。

【電気工事基幹技能者の認定・特典】

認定講習を受講し、終了査定(試験)に合格した者は、「電気工事基幹技能者」として認定され、(社)日本電設工業会会長から「電気工事基幹技能者証」が交付される。また、(社)日本電設工業会に登録し公表されるとともに、ヘルメットにワッペンが貼付ができる。さらに、平成21年度より実施される経営事項審査(経審)で加点の対象となる。

平成20年度電気工事基幹技能者特例講習会について

【開催概要】

この講習会は、平成19年度より以前に電気工事統括技士、電気工事基幹技能者の資格を取得した人が、平成21年度より実施される経営事項審査（経審）で加点評価されるための特例講習会です。

この特例講習会は平成20年度から平成24年度までの5年間に実施します。

【受講資格】

平成19年度以前に基幹技能者の資格を取得した者で、次の条件を全て満たす必要があります。

1. 基幹技能者資格を取得後、1年以上基幹技能者として電気工事の現場施工に従事した経験があつて、これについて事業主等よりの証明が得られること。

（従いまして、平成19年度に資格を取得された方は、来年度以降の特例講習を受講してください）

2. 電気工事の現場施工に従事して、10年以上の実務経験があり、3年以上の職長経験を有していることを証明できる者。

- ①実務経験は事業主による証明とする。
- ②職長経験は事業主による証明と、労働安全衛生法第60条による職長教育終了証とする。

【特例講習の実施時期】

平成20年度は次のとおりで2回開催する。

1回目 平成20年8月28日(木)

2回目 平成20年9月19日(金)

【開催場所】

北海道電気会館 6階大ホール
(札幌市中央区北1条東3丁目)

【受講料】

8,000円

受講料には、受講費、教材費、その他関係諸経費が含まれる。

【受付期間】

平成20年5月1日(木)から

平成20年5月31日(土)

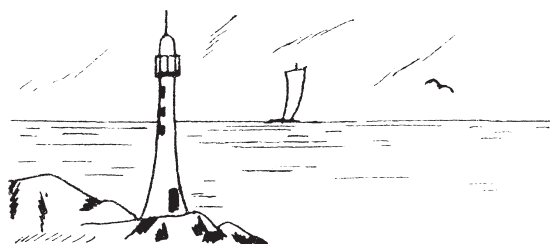
【申込方法】

所定の申込用紙により(社)日本電設工業協会北海道支部に提出。

申込用紙は、(社)北海道電業協会で行扱う。

【特例講習会受講者の認定】

特例講習会を受講して登録基幹技能者として認定された者には、登録電気工事基幹技能者講習終了証が付与され、(社)日本電設工業協会に登録して公表する。



業 界 だ よ り

○会員退会

・富士電機E&C株式会社 平成19年12月31日

理事会・委員会報告

理 事 会

◇平成20年1月23日(水) 12:00～13:30

第6回議題

【協議事項】

1. 協会会員の退会について
2. 平成19年度協会主要事業の今後の運営について
3. 当協会ホームページの検討について

【報告事項】

1. 第217回本部政策委員会開催概要について
2. 基幹技能者特別委員会開催概要について
3. 本部・支部事務連絡会議について
4. 平成20年秋の叙勲・褒章及び建設事業関係功労者について
5. 「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編 19年版）」講習会について
6. 「高圧受変電設備の計画・設計・施工」技術講習会について
7. 平成19年度電気設備現場見学会について
8. 札幌商工会議所「平成20年新年恒例会」の開催について
9. 北海道電気工事業組合通常総代会等のご案内について
10. 北海道建築審議会委員及び19年度北海道赤レンガ建築表彰式
11. 20年1月～2月行事予定について
12. その他意見交換

◇平成20年3月28日(金) 12:00～13:30

第7回議題

【協議事項】

1. 役員選任の対応（案）について
2. 協会功績表彰について
3. 平成19年度5常設委員会の事業実施状況について
4. 電業協会第42回通常総会付議事項について
5. 電設協道支部第52回通常総会付議事項について
6. 通常総会の運営について

【報告事項】

1. 電設協第218回政策委員会の開催概要について
2. 平成20年電気・空衛協議会の開催概要について
3. 札幌市都市局と電気空衛連絡協議会意見交換会開催概要について
4. 本部・支部事務連絡会議の開催概要について
5. 道東ブロック3電業協会会長との懇談会概要について
6. 20年3月～4月日程について
7. その他意見交換

三 役 会

◇平成20年1月18日(金) 12:00～13:30

第10回議題

1. 協会会員の退会
2. 平成19年度協会主要事業の今後の運営
3. 第217回本部政策委員会開催概要

4. 基幹技能者特別委員会開催概要
5. 本部・支部事務連絡会議
6. 当協会ホームページの検討
7. 平成20年秋の叙勲・褒章及び建設事業関係功
労者
8. 「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編
19年版）」講習会
9. 「高圧受変電設備の計画・設計・施工」技術
講習会
10. 平成19年度電気設備現場見学会
11. 「会員調査票の提出方」依頼
12. 北海道設備設計事務所協会「新年交礼会」の
開催
13. 札幌商工会議所「平成20年新年恒例会」の開
催
14. 20年1月～2月行事予定
15. その他意見交換

2. 平成19年度事業実施状況及び20年度事業計画
3. 通常総会に向けた対応
4. 電業協会功績者表彰者の推薦
5. 本部・支部事務局長会議開催概要
6. 道東ブロック3電業協会会長との経営に関す
る意見交換会
7. 平成20年1月～6月役員会等の日程
8. 洞爺湖サミット関連
9. 三輪・富井賞候補者の推薦依頼
10. 北海道との防災協定締結関係打合わせ概要
11. 北海道赤レンガ建築賞20周年記念誌の発刊
12. 建設業の新分野進出優良事例発表会概要
13. 当協会ホームページの作成
14. 関連団体の総会・懇親会
15. 札幌市との意見交換会等の対応
16. 平成20年3月～4月行事予定
17. その他意見交換

◇平成20年2月4日(月) 12:00～13:30

第11回議題

1. 道東ブロック協会との意見交換会の対応
2. 平成19年度電設業関連4団体懇談会の開催
3. 平成20年度電気工事基幹技能者特例講習会の
開催
4. 北海道洞爺湖サミット道民会議への寄付依頼
5. 「高圧受変電設備の計画・設計・施工」技術
講習会
6. 平成19年度電気設備現場見学会
7. 札幌電気工事業協同組合通常総代会懇親会の
開催
8. 北海道空調衛生工事業協会通常総会懇親会の
開催
9. 北海道の「建設業の新分野進出優良事例発表
会」
10. 20年2月～3月行事予定
11. その他意見交換

◇平成20年3月5日(水) 13:00～14:30

第12回議題

1. 役員改選の対応

総務委員会

◇平成20年3月4日(火) 13:00～14:30

第4回議題

1. 平成19年度事業実施状況及び20年度事業計画
2. 通常総会に向けた対応
3. 電業協会功績者表彰者の推薦
4. 本部・支部事務局長会議開催概要
5. 道東ブロック3電業協会会長との経営に関す
る意見交換会
6. 平成19年1月～6月役員会等の日程
7. 洞爺湖サミット関連
8. 三輪・富井賞候補者の推薦依頼
9. 北海道との防災協定締結関係打ち合わせ概要
10. 北海道赤レンガ建築賞20周年記念誌の発刊
11. 建設業の新分野進出優良事例発表会概要
12. 当協会ホームページの作成
13. その他意見交換

経営委員会

◇平成20年 1月24日(木) 12:00～13:30

地区協会対応WG検討委員会

議 事 内 容

- ・ 現在までの3地区協からの要請概要
- ・ 今後の協会としての対応
- ・ 帯広協会等3協会招請の時期
- ・ 対応までに作成する資料等（準備）
- ・ その他

◇平成20年 2月19日(火) 14:00～15:30

道東地区3電業協会会長との経営に関する意見交換会

出席者

オホーツク圏電業協会 石澤会長
帯広電業協会 板倉会長
釧根電業協会 青田会長

北海道電業協会 山口副会長ほか
地区協会対応WGメンバー

議 事 内 容

- ・ 地区協会からの要請概要説明
- ・ 要望事項に対するWGの検討内容説明
- ・ その他意見交換

◇平成20年 3月13日(木) 12:00～13:30

第6回議題（議長：中鉢副委員長）

1. 第5回議事録（案）の承認
2. 電設協第218回政策委員会の開催概要
3. 平成19年度経営委員会事業活動状況
4. 平成20年度経営委員会事業計画（案）
5. 道東ブロック3電業協会会長との経営に関する意見交換
6. 本部・支部事務連絡会議開催概要
7. 建築設備設計関連資格の取得に関するお知らせ
8. その他意見交換

広報委員会

◇平成20年 3月27日(木) 15:00～16:30

第4回議題

1. 平成19年度事業実施状況
2. 平成20年度事業実施計画（案）
3. 会報「夏号」編集方針
4. 会報「春号」校正
5. その他意見交換

技術安全委員会

◇平成20年 3月10日(月) 12:00～13:30

第4回議題

1. 実施報告
 - ・ 技術講習会の実施
（公共建築工事標準仕様書）
（高圧受変電設備の計画・設計・施工）
 - ・ 電気設備見学会の実施（室蘭・PCB処理施設）
2. 平成19年度技術安全委員会事業報告
3. 平成20年度技術安全委員会事業計画（案）
4. 平成20年度電気工事施工管理1級学科受験準備講習会
5. 平成20年度「技術・安全衛生基礎教育講習会」
6. 平成20年度基幹技能者特例講習会の開催
7. 本部・支部事務連絡会議概要
8. 建築設備設計関連資格の取得に関するお知らせ
9. その他意見交換

厚生委員会

◇平成20年 3月14日(金) 16:00～17:00

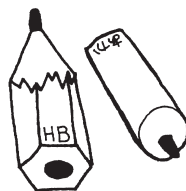
第2回議題

1. 平成19年度各部会行事実施報告
2. 平成20年度厚生委員会事業計画（案）
3. 平成19年度予算及び20年度予算（案）
4. その他意見交換

事務局日誌

1月8日(火)・官公庁新年挨拶 遠藤会長ほか
 9日(水)・本部電設協会賀詞交歓会
 遠藤支部長ほか
 11日(金)・電気関係三団体賀詞交歓会
 遠藤会長ほか(グランドホテル)
 17日(木)・設備設計協会新年交礼会
 (京王プラザホテル) 遠藤会長
 18日(金)・第10回三役会
 23日(水)・電業協会第6回理事会・常議員会
 ・経営者懇談会(セミナー)
 ・業界団体連絡協議会新年交例会
 24日(木)・経営委員会地区協対応打ち合わせ
 30日(水)・技術講習会「公共建築工事標準仕様書」(電気会館)
 2月4日(月)・第11回三役会
 ・公益法人セミナー 広島専務
 7日(木)・新分野進出戦略講演・事例発表
 広島専務(KKR)
 13日(水)・本部運営委員会・理事会
 (東京) 遠藤支部長
 14日(木)・技術講習会「高圧受変電設備の計画・設計・施工」(電気会館)
 15日(金)・本部・支部事務連絡会議
 (東京) 広島専務
 19日(火)・道東ブロックとの意見交換会

25日(月)・電設業関連4団体懇談会
 (北2条クラブ)
 27日(水)・道空衛協会総会・懇親会
 (京王プラザホテル) 遠藤会長
 27日(水)・道電気工組総会・懇親会
 (Hエーデルホフ) 小出副会長
 28日(木)・電気設備見学会
 (室蘭・PCB処理施設)
 3月4日(火)・第4回総務委員会
 ・第218回本部政策委員会
 (東京) 山口副会長
 5日(水)・第12回三役会
 ・第5回ゴルフ部会
 10日(月)・第4回技術安全委員会
 12日(水)・道庁監査
 13日(木)・第6回経営委員会
 14日(金)・札幌市と電気空衛協議会の意見交換会(ホテルニューオオタニ)
 ・第2回厚生委員会
 19日(水)・本部運営委員会(東京)
 遠藤支部長
 24日(月)・設備設計事務所協会と電気・空衛協会との懇談会
 26日(水)・本部理事会(東京) 遠藤支部長
 27日(木)・第7回広報委員会
 28日(金)・第7回理事会
 ・第2回地区代表者会議(評議員会)



編集後記

尾谷真視様の巻頭言「2008年からの計」誠にありがとうございました。

われわれが会報秋号で取り組ませていただいた“洞爺湖サミット特集”を思わず意識させられております。尾谷様がおっしゃるようにまさにわれわれ一人ひとりが意識して努力すればかなりの部分でCO₂の削減が可能であると思います。

最近レストランで“MY一箸”の使用者が増えているそうであります。たとえ割り箸一本といえども大勢の人たちが実施すれば大げさに言えば“森林破壊”の歯止めとなるはずであります。身近なところに削減の材料は転がっています。

さーみんなで始めよう「2008年からの計」。

広報委員長 橋本 耕二



発行 平成20年4月
社団法人 北海道電業協会
札幌市中央区南1条東1丁目3番地
パークイースト札幌6階
TEL (011)271-2932
FAX (011)271-2952
E-Mail:dodenkyo@estate.ocn.ne.jp